

# いなづま

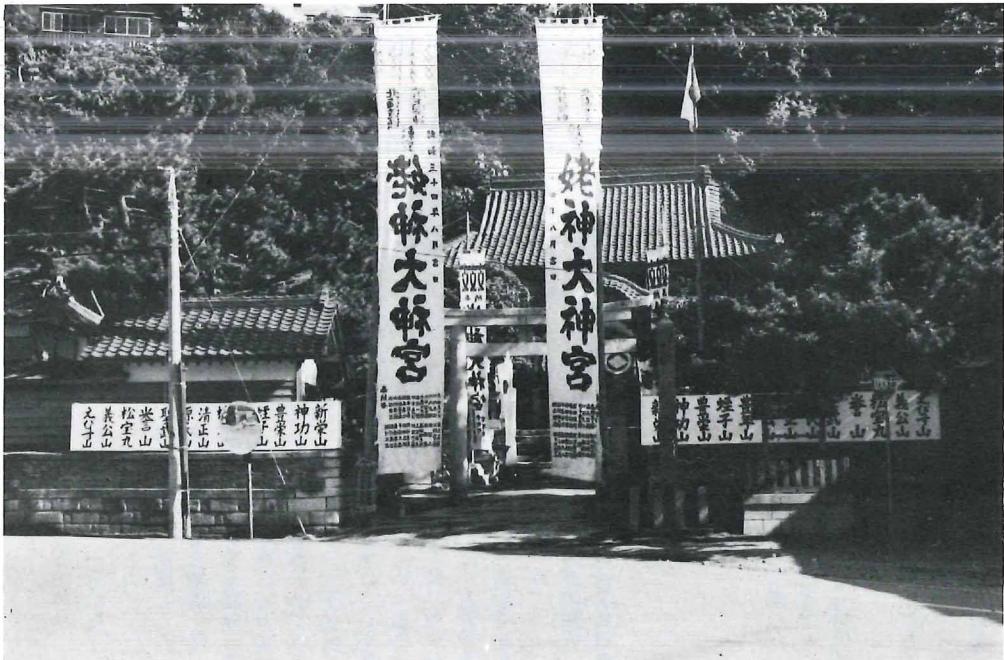
題字 小 寺 寛 一

発行所 函館地方電氣工事協同組合

## 編 集 總 務 部

住 所 函館市日乃出町7番22号

印刷所 畠山 印刷



(例大祭八月九・十・十一日)

江差町姥神大神宮

うば　　おきな  
今から500年もの昔、老いた姥が1人の老翁から渡された小瓶を海に投げると、海水が変りニシンが押し寄せて来た。その後、姥が立ち去った庵に残された神像を、人々は折居様と呼び、漁業の神としてあがめたのが姥神大神宮であると伝えられ、創立は不明であるが言い伝えでは、文安4年(534年前)に創立、正保元年(1644年)現在地に移築され、文化14年7月正一位姥神大神宮社号を勅許された北海道最古の神社である。

本日はお忙しいところ、第三十一回総代会にご出席をいただき有難うございました。不景気と言われてからすでに三年、五年と経過して参りましたが、未だ好転しないで推移して居ります。

理事長 大倉伸夫

挨拶要旨

また、組合として決して本意ではございませんが、昨年度は十九名の新規加入者があり、本年度も十名の新規加入者が予定され、組合としてはどんどん／＼膨張して参りますが、その反面、仕事は増加している訳ではありませんので、このようなことを踏まえて、よろしく経営されるようご指導ご協力の程お願い致します。

(以下省略)

## い　な　づ　ま

## 役員会だより

## 臨時役員会

五四・一・二六

## 一、慶弔報告

(一)上ノ国電気工業所代表者病氣入院

(二)烟山電気商会代表者病氣入院

(三)角池田電気工事事務所類焼

(四)北電函館支店長尊父死亡

(五)函栄電気代表者母堂死亡

## 二、貸付報告

三社 一五〇万円

## 三、各支部・部会報告並提案事項

四社 一五〇万円

## 五、各支部・部会報告並提案事項

五社 一五〇万円

## 六、各支部・部会報告並提案事項

六社 一五〇万円

## 七、各支部・部会報告並提案事項

七社 一五〇万円

## 八、各支部・部会報告並提案事項

八社 一五〇万円

## 九、各支部・部会報告並提案事項

九社 一五〇万円

## 十、各支部・部会報告並提案事項

十社 一五〇万円

## 十一、各支部・部会報告並提案事項

十一社 一五〇万円

## 十二、各支部・部会報告並提案事項

十二社 一五〇万円

## 十三、各支部・部会報告並提案事項

十三社 一五〇万円

## 十四、各支部・部会報告並提案事項

十四社 一五〇万円

## 十五、各支部・部会報告並提案事項

十五社 一五〇万円

## 十六、各支部・部会報告並提案事項

十六社 一五〇万円

## 十七、各支部・部会報告並提案事項

十七社 一五〇万円

五四・三・九

## 第一回役員会

- (三)連合会田中会長母堂死亡  
(四)石川電気商会代表者尊父死亡

## 二、貸付報告

三社 一五〇万円

## 三、各支部・部会報告並提案事項

四社 二〇〇万円

## 四、各支部・部会報告並提案事項

五社 二〇〇万円

## 五、各支部・部会報告並提案事項

六社 二〇〇万円

## 七、各支部・部会報告並提案事項

七社 二〇〇万円

## 八、各支部・部会報告並提案事項

八社 二〇〇万円

## 九、各支部・部会報告並提案事項

九社 二〇〇万円

## 十、各支部・部会報告並提案事項

十社 二〇〇万円

## 十一、各支部・部会報告並提案事項

十一社 二〇〇万円

## 十二、各支部・部会報告並提案事項

十二社 二〇〇万円

## 十三、各支部・部会報告並提案事項

十三社 二〇〇万円

## 十四、各支部・部会報告並提案事項

十四社 二〇〇万円

## 十五、各支部・部会報告並提案事項

十五社 二〇〇万円

## 十六、各支部・部会報告並提案事項

十六社 二〇〇万円

## 十七、各支部・部会報告並提案事項

十七社 二〇〇万円

## 十八、各支部・部会報告並提案事項

十八社 二〇〇万円

## 十九、各支部・部会報告並提案事項

十九社 二〇〇万円

## 二十、各支部・部会報告並提案事項

二十社 二〇〇万円

## 二十一、各支部・部会報告並提案事項

二十一社 二〇〇万円

## 二十二、各支部・部会報告並提案事項

二十二社 二〇〇万円

## 二十三、各支部・部会報告並提案事項

二十三社 二〇〇万円

## 二十四、各支部・部会報告並提案事項

二十四社 二〇〇万円

## 二十五、各支部・部会報告並提案事項

二十五社 二〇〇万円

## 二十六、各支部・部会報告並提案事項

二十六社 二〇〇万円

## 二十七、各支部・部会報告並提案事項

二十七社 二〇〇万円

## 二十八、各支部・部会報告並提案事項

二十八社 二〇〇万円

## 二十九、各支部・部会報告並提案事項

二十九社 二〇〇万円

## 三十、各支部・部会報告並提案事項

三十社 二〇〇万円

## 三十一、各支部・部会報告並提案事項

三十一社 二〇〇万円

## 三十二、各支部・部会報告並提案事項

三十二社 二〇〇万円

## 三十三、各支部・部会報告並提案事項

三十三社 二〇〇万円

## 三十四、各支部・部会報告並提案事項

三十四社 二〇〇万円

## 三十五、各支部・部会報告並提案事項

三十五社 二〇〇万円

## 三十六、各支部・部会報告並提案事項

三十六社 二〇〇万円

## 三十七、各支部・部会報告並提案事項

三十七社 二〇〇万円

## 三十八、各支部・部会報告並提案事項

三十八社 二〇〇万円

## 三十九、各支部・部会報告並提案事項

三十九社 二〇〇万円

## 四十、各支部・部会報告並提案事項

四十社 二〇〇万円

## 第一回役員会

- (一)株本間組社長尊父死亡  
(二)石橋電気商会代表者病氣入院  
(三)大倉理事長病氣入院  
(四)厚生年金基金発足祝賀会

## 二、慶弔報告

三社 二〇〇万円

## 三、各支部・部会報告並提案事項

四社 二〇〇万円

## 四、各支部・部会報告並提案事項

五社 二〇〇万円

## 五、各支部・部会報告並提案事項

六社 二〇〇万円

## 六、各支部・部会報告並提案事項

七社 二〇〇万円

## 七、各支部・部会報告並提案事項

八社 二〇〇万円

## 八、各支部・部会報告並提案事項

九社 二〇〇万円

## 九、各支部・部会報告並提案事項

十社 二〇〇万円

## 十、各支部・部会報告並提案事項

十一社 二〇〇万円

## 十一、各支部・部会報告並提案事項

十二社 二〇〇万円

## 十二、各支部・部会報告並提案事項

十三社 二〇〇万円

## 十三、各支部・部会報告並提案事項

十四社 二〇〇万円

## 十四、各支部・部会報告並提案事項

十五社 二〇〇万円

## 十五、各支部・部会報告並提案事項

十六社 二〇〇万円

## 十六、各支部・部会報告並提案事項

十七社 二〇〇万円

## 十七、各支部・部会報告並提案事項

十八社 二〇〇万円

## 十八、各支部・部会報告並提案事項

十九社 二〇〇万円

## 十九、各支部・部会報告並提案事項

二十社 二〇〇万円

## 二十、各支部・部会報告並提案事項

二十一社 二〇〇万円

## 二十一、各支部・部会報告並提案事項

二十二社 二〇〇万円

## 二十二、各支部・部会報告並提案事項

二十三社 二〇〇万円

## 二十三、各支部・部会報告並提案事項

二十四社 二〇〇万円

## 二十四、各支部・部会報告並提案事項

二十五社 二〇〇万円

## 二十五、各支部・部会報告並提案事項

二十六社 二〇〇万円

## 二十六、各支部・部会報告並提案事項

二十七社 二〇〇万円

## 二十七、各支部・部会報告並提案事項

二十八社 二〇〇万円

## 二十八、各支部・部会報告並提案事項

二十九社 二〇〇万円

## 二十九、各支部・部会報告並提案事項

三十社 二〇〇万円

## 三十、各支部・部会報告並提案事項

三十一社 二〇〇万円

## 三十一、各支部・部会報告並提案事項

三十二社 二〇〇万円

## 三十二、各支部・部会報告並提案事項

三十三社 二〇〇万円

## 三十三、各支部・部会報告並提案事項

三十四社 二〇〇万円

## 三十四、各支部・部会報告並提案事項

三十五社 二〇〇万円

## 三十五、各支部・部会報告並提案事項

三十六社 二〇〇万円

## 三十六、各支部・部会報告並提案事項

三十七社 二〇〇万円

## 三十七、各支部・部会報告並提案事項

三十八社 二〇〇万円

## 三十八、各支部・部会報告並提案事項

三十九社 二〇〇万円

## 三十九、各支部・部会報告並提案事項

四十社 二〇〇万円

## 四十、各支部・部会報告並提案事項

四十一社 二〇〇万円

組合行事

## 通常総代会

五十四年度の第三十一回通常総代会が去る五月二十四日午後一時三十分より工事組合二階会議室に於いて開かれた。定数七十三名の総代中六十三名の出席のもと、理事長挨拶につづき理事者推薦に依り横井雄吉氏を議長に、佐藤征次氏を副議長に選出、議案審議に入つた。

第一号議案「昭和五十三年度事業報告並びに決算について承認を求める件」並びに第二号議案「昭和五十四年度事業計画案並びに予算案について承認を求める件について事務局より内容説明がなされた後、質疑応答に入り、二、三の疑問点が出された。

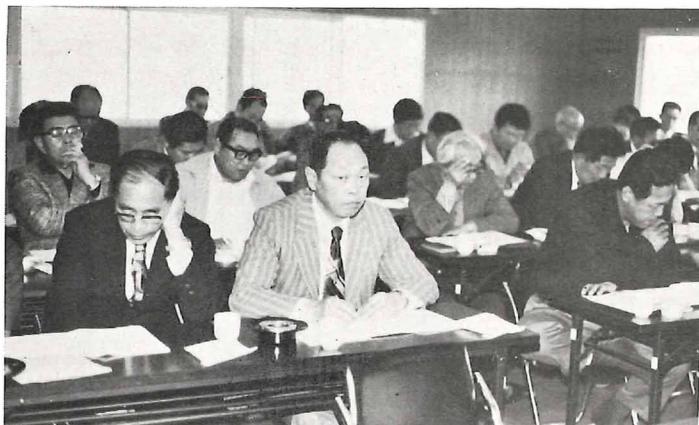
即ち予算額と決算額との間に差異の多い項目についてのその原因と内訳及び、いなづま機関誌の発行回数が当初予定回数より少ない事の理由及びその収載記事が面白味を欠く事を指摘、今後の編集方針についての質問、又当初予算に計上していない支部運営費を直ちに決算額として処理している事の可否等であるが、それぞれ理事長並びに担当理事よりの説明又は今後の運営方針等につき了解が求められ、それぞれ原案通り承認された。

第三号議案「組合定款の改正について」に関して事務局より、(一)役員の定数については、新規加入組合員の増加と、従前よりの理事の定数の増員規程の慣例とに則して、現在定員の第二十四条「理事十人以上十五人以内監事三人」とあるのを「理事十五人以上二十人以内監事三人」と改正したい旨及び、(二)総代の定数に關しては、各支部毎に組合員三人に対して総代一人との条件を充たす為には、第十六条「総代の定数を七十三人とする」を「総代の定数を八十一人とする」と改正したいとの提案がなされた。それに對して、理事の定数増については、現に法的には「三人以上とする」との規定を充分に満足しており、これ以上機械的に定

員を増やしても組合運営上特に益するとも思われず、いたずらに組合経費を圧迫するに過ぎないのであれば無意義であるとの反対意見が出され、討議の結果、理事監事の定員増と総代の定員増と二つの問題に分けて表決の結果、前者に対しても否決され、後者については議案通り採決された。

尚最近の過当競争による値崩れと発注側からの不当な値引き要求に対し、この際真剣に電気工事業界の置かれている実情と適正価格の維持改善の必要性の理解を得るべく、組合予算の総力を尽つくんでよいという決意で、この問題にとり組むべきことが組合員の総意として提案賛同を受けた。

以上によりすべての議案の審議を終り午後五時閉会された。



熱心に審議する総代各位

## 組合員の異動変更

(組織・名称・住所の変更)

(新)

(旧)

一、下山電気商会  
電話(03)471-0040

函館市石川町五八一

函館市昭和町三七五

一、菅原電気商会  
電話(03)521-6060

函館市中道町三一一六

函館市青柳町二四一八

一、北斗電気㈱

代表者 竹内幸雄

代表取締役 竹内八郎

函館市本通町三九三一三六

函館市湯川町三四四一八

一、沢井電気

代表取締役 長谷静江

代表取締役 竹内八郎

函館市本庄電気工業所

函館市青柳町二四一八

一、高野電気  
一、(有)本庄電気

代表取締役 長谷政明

函館市湯川町三四四一八

一、(有)東和(長谷)電気

代表取締役 長谷政明

函館市東和電気

一、(有)上磯電気  
一、(有)東和電気

代表取締役 長谷政明

函館市上磯町字東浜町三四三一一三五

一、(有)上磯電気  
一、(有)東和電気

代表取締役 長谷政明

函館市上磯町字東浜町三三六〇

一、(有)姥名電気

代表取締役 長谷政明

函館市姥名電気

## 組合員消息

一、三月上旬 石橋電気商会代表者内藤俊男氏病氣 入院(六月下旬退院)

一、四月上旬 大倉理事長病氣入院(五月中旬退院)

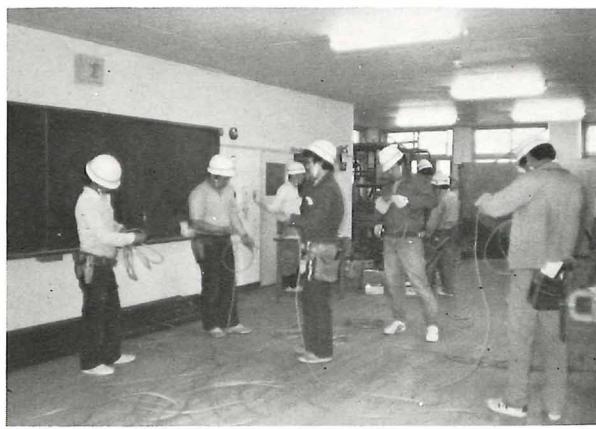
一、一月四日 函栄電気代表者内藤俊男氏母 病死

一、二月二日 石川電気商会代表者石川光男 氏尊父死亡

一、三月三日 (有)本間組社長本間芳治氏尊父 死亡

一、四月八日 (有)日東電気商会社長土谷敏一 氏尊父死亡

# 訓練校だより



実技訓練に励む1年生

◎森谷校長勇退する

八年間に亘り函館電気高等職業訓練校の校長としてその重責の任にあたられた森谷勇一氏は、このたび社業に専念するため校長の職を勇退することになります。氏は、昭和四十六年に初代訓練所長樺原邦夫氏の後を継いで校長の任に就き、今まで嘗て後進の指導に努め、昭和四十九年には事業内訓練のモデル訓練校として道知事に指定され、昭和五十年十一月には、氏の電飾技術の優秀性を讃える「卓越した技能者」としての知事表彰に輝き、又本年二月には、全北海道電気工

は心身共に大変な苦労であったことと察せられます。大倉理事長・森谷校長の挨拶の後、来賓の渡島支庁長、函館市長（共に代理）よりあたたかいお祝いとはげましの辞をいただき、待ちに待った電気工事士免状とたくさんの記念品をしっかりと手にした卒業生の顔には、二年間の苦労を吹きとばし、明日への希望に燃えた輝きがありました。

これからも活躍を大いに期待します。

当組合の函館電気高等職業訓練校では、去る四月十六日、函館市の職業訓練センターにおいて、電気工事士を目指す十四名の生徒を迎えて入学式が挙行されました。

向後二年間、健康に充分注意のうえ、一人も落伍すことのないよう頑張って下さい。

## ◎卒業式・修了式

去る四月二十六日、組合会議室において第十三期生十四名の卒業式、第十四期生二十三名の修了式が挙行されました。

長い不況下においての二年間、昼間働き乍らの訓練

## 昭和53年度卒業生名簿

(第13期生)

氏 名	勤務先
奥村幸二	奥村電気商会
福野義明	(有)旭東電気工業所
山下堅一	株タマツ電機商会
鈴木孝行	//
大林英延	平野電気工業所
宮崎淳悦	北斗電気(株)
坂本慎司	//
岡山則雄	//
本間仁司	//
阿部純大	(有)松木電気工業所
美濃部志良	//
増田熊次郎	モリヤ電飾
山岸秀光	山岸電気商会
天野久志	株吉浦電機商会

## 募る!! 原稿

編集部では、皆様からの原稿を募集しております。随筆・短歌・俳句・ご意見、何でも結構ですので事務局までどしどしあ寄せ下さい。

# 隨筆

## 漢字の妙味

平沼智子

東京上野の地下鉄のホームの壁に、なかなか含蓄の深い掲示があるのでメモして来た。日本の言葉(源流は中國であるが)はよく出来ている。メモしながら、なるほど、なるほどと、うなづく事しきりである。帰函して早速「大字典」をひらき、一層その感を深くした。

旨味(これはうまい)

美味(なかなかうまい)

好味(とてもうまい)

滋味(とつくりうまい)

芳味(ほんのりうまい)

風味(しみじみうまい)

珍味(なるほどうまい)

佳味(さすがうまい)

豊味(じつくりうまい)

厚味(さらりとうまい)

香味(こつくりうまい)

醇味(とくにうまい)

の以上十二味が並んでいた。うまいと言ふ表現に、このほかもあるのかと考えてみたが、一寸見あたらぬ。とすれば味わいのすべてに漢字をあて、そして、その

あてた感じがピッタリである。考へついた人の頭に敬服すると同時にほどの智慧者だと思う。

大字典をひらいて字の由来や出来た源流を知り成程

と二度びっくりした。

旨味(これはうまい)の旨は人が口の中に物を入れた時の人の顔の変化したものだと言う事である。字典の絵を眺めいたら、だんだん相好を崩した人の顔に似て来たから不思議である。

豊味(じつくりうまい)の豊は礼器(祭壇に供える器)に盛物の多く満ちたる形とある。源字をみていると五穀を積み重ねた感じがする。

香味(さらりとうまい)の香は黍・稷の甘く熟した様子を表現したものだと言う事で、ジツと源字をみてみると、点が黍のツブ／＼に見えて来る。そして、黍や稷の甘く熟れた香が風に乗るとまさに「さらりとうまい」感じである。

日常の生活の中で「大字典」など引いてしらべる機会は少ない今日このごろはあるが、たま／＼このメモのおかげで、ほこりをかぶった大字典を開く機会を得て一刻のたのしさを味わった次第。こんなのが樂味(たっぷりうまい)としたらおかしいだろうか。

## お知らせコーナー

北海道住宅供給公社宅地分譲の旭岡団地供給工事については次のような取扱いになりますので、よろしくお願いいたします。

記

一、電気申込みをする場合は函館市役所住宅課内にある住宅供給公社に書類を提出して下さい。

二、目標欄に、定められた区画整理番号を記入して下さい。

三、引込線以下の工事でも、負担金対象工事扱いとなりますので、住宅建築の着工前(二ヶ月前)に提出して下さい。

## 変更内容(54.5.1日より実施)

	函館営業所	亀田電業所
現行	昭和町の一部(約25%) 亀田本町の大部分(約95%) 富岡町の一部(約40%) 中道町の一部(約20%) 本通町の一部(約10%)	昭和町の大部分(約75%) 亀田本町の一部(約5%) 富岡町の一部(約60%) 中道町の大部分(約80%) 本通町の大部分(約90%) 東山町の全域
変更後	亀田本町の全域 本通町の全域 東山町の全域	昭和町の全域 富岡町の全域 中道町の全域

\*上記以外の区域は従来のままとする。

従来、函館営業所と亀田電業所の受持区域は、旧国鉄戸井線などを境界にしていましたが、業務幅の緩和をはかるため、町単位の区画に整備されましたのでお知らせいたします。

## 函館営業所と亀田電業所の受持区域一部変更について



## 商 売 の 誇 り



街には大型スーパーが溢り立し特売合戦が激しく展開されている。そして昔から庶民が利用してきた町内の雑貨店や、食料品店は悲鳴をあげている。醤油一本、みそ一袋を売ってその利益で生活を続けてきた小売店にしてみると、それらの店の仕入値に近い価格で販売しているスーパーに、家族ぐるみマイカーレ買出しに行く姿を見て、手を拱いて溜息をついているのが実情である。

しかし「他人事ではない」のである。

今私達の業界にもスーパー的な工事の安売りが行わ  
れつつある。簿利多売と言う言葉があるがこれは文字通り、少ないマージンを数でこなすと言う事で、一般の消費物質や食料品等には通用しても、技術を売る我々の電気工事に適用されるとこれは技術の特価販売である。

私達の電気工事は、快適な文化的な日常生活と、生産の場における原動力、社会的なあらゆる環境維持のために多くの出来ない電気の施設を施工する業種であり、しかも利用する人の絶対安全と設備の保安上に於ける法的な責任を半永久的に負わされている業種でもある。

世間にたくさんの商売があるが電気工事ほど各種の制約にしばられ、縁の下の力持ち的存在で且、責任の重い業種は少ないのでなかなかかわらず最も関係の深い建設業関連の中に於いては永年の商慣習や、関連職種間の序列？についても電気屋がまだ低くみられていると嘆かざるを得ないのが現状である。しかしこうなった種々の原因の中に責任の一端は私達の側にあると思う。それらの中の一つは『低価格競争』

であり、『スーパー並みの技術の安売り』であると思う。中型工事以上の工事の場合、施工や設計事務所、建築業者（大は本州大手のゼネコンから街の工務店）の目の前で派手に『安売り競争』を演じてみせている多くの例がある。

施工主にしてもゼネコンにしても下請けの電気工事が競争すればする程モウカル計算であり、しかも安値で請けても感謝される処か最後は相手のペースに巻きこまれて遂にはナメラれて了う。ノーマルな設計事務所には迷惑をかけた上に不信感をもたらす。こんな噂は尾鱗がついて工事価格の相場は更に下がる、仕事は大出血受注の揚句、同業間の不信感から蔭でお互いの中傷を言い合う様になる。これでは業界の地位向上どころか地盤沈下の一方であろう。

住宅等の電気工事にした処で、材料の仕入価格は市内の問屋ではさしたる差はない筈である。この資材を加工する労務費もこれ又、大きな格差があるとは思われない。この様に計算すると工事費の違いと言うのはその店の規模の大小による諸経費の差程度と思われる。にもかかわらず現実には一灯当り二千円はおろか千八百円とか五千五百円と言つた価格で我とわが手足を喰つてゐる。

一灯いくらと言う決め方をしないまでも、二百万円程の工事費が二十五%から三十五%引きの超低価格で競われている。

仮りに『技術基準』などクソ喰え式の不適正・配線工事をやつたところで、一体いくらの資材費が浮き、幾らの労務費がうくのであろう。材料は盗んででも来るのか、それとも針金を電線の替りに使うのか、現場では女子供のアルバイトでも事足りるのか？

自分の首を締め上げる『技術の安売り』にも限度があると言うものだ。まして国家試験で資格をとる『電気工事士』や『消防設備士』でなければ施工の出来ない私達の神聖な商売である電気工事をである。

もう少し言わせて貰えば、建設業関連の各業種（鉄筋・大工・左官・塗装・建具・配管等々）にしても他

のあらゆる職業のいわゆる『〇〇士』と称する資格は（國家試験に準ずる権威のものもあるかも知れないが）

電気工事士や消防設備士には施工に際しても厳重な法律や規定があり、完成後も義務や重い責任がついて廻るのである。

電灯盤のブレーカーの螺旋の締め忘れが原因で、完成後五年も経つて火事で焼けても、施工した電工の責任であり、業者は數千万円の賠償金を支払わねばならぬ例がつい最近もあった。ウツカリ、不注意の結果とは言え私達の商売はこの様にキビシイのである。

資本主義社会では強食弱肉が日常茶飯事とはい、勝ち残る為にはナリ・フリ・カマわず、モラルも仁義もなく、低価格受注に終始すれば遂には業界の信用低下と自らの企業の破綻に繋がり、業界全体の収益の低減、ひいては業界の地盤沈下に拍車をかけることになろう。

私達の仲間には『電気屋』という呼称を改めようと言ふ人もある。自らを卑下した呼び方であるといふ皮相的な観方であり、せめて自他ともに呼称を変えれば自覚も向上するのではないかと期待をこめた論の様である。

しかし乍ら例えば『建築屋』『土木屋』『配管屋』

『鉄道屋』と言ふ呼称は、主として技術部門に於いて誇り高いエンジニアとしての自負と、多少のへり下りをこめた自らの称号であるとも思う。

いくら呼び方、呼ばれ方を『電気屋』から『電気設備工事業』にぬり替えて、かんじんの中身が十一年一日の如き不合理なドンブリ勘定の不健全業態では、商売として成り立つていかないし他也認めてくれはしないであろう。規模の大小を問わず私達は他の業種にはない条件（規制・危険・義務・責任等）を越えて、この複雑な社会の機構の中で、重要な歯車の回転を担っているのだという誇りと、同時にそれに見合う当然の報酬を獲得しなければならぬと言う努力と、何にもまじして商売のモラルの回復（向上ではない）をめざして、衆知を集めて行動に移るべきと考える。

あかるい明日を技術でひらく

東芝電材株式会社

函館市大繩町二十二番十四号  
電話 四一一二三四一

吟味する

松下电工株式会社

函館市昭和町三九六の一  
電話函館四一一五八二二

工事材料・電化製品

丸晃電氣株式會社

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話四九一三三一三

全道随一の照明設備センター  
電設機器資材の総合電機卸

大興電機株式会社

本社  
電函館市西桔梗町一十六二五七一〇七  
札幌市西桔梗町一十六二五七一〇七  
代才町一七九四三一八島  
八二二一七九四三一八島

三菱電材特約店  
あらゆる電設資材卸

隆東電機株式会社

函館市西桔梗町五八九一—〇八  
電話四九一六二二六

電設資材・機電綜合卸

進和電機株式会社

040  
電函館市松川町三四一  
電話四二一六二三一三

明日をひらく電設資材の総合卸商社

株式会社  
工三函館出張所  
商會

函館市豊川町七番二二八号  
(代表) 本社・札幌支社・東京  
當業所・釧路出張所・苫小牧

電氣工事材料  
音響通信機器  
総合商社

石垣電材株式会社  
函館當業所

本社  
札幌市中央区北六条西一丁目一一番地  
支店  
053 苫小牧市新中野町一丁目一番二号  
函館営業所  
函館市八幡町三四一四三七番代  
電話  
03-3384-1118(通)